

Information_11

近頃は木の葉も色づき、秋らしさが増してきました。今回は猫さんの食べ物と味覚と、猫さん特有のちょっと特殊な栄養素についてのお話です。

猫の食のイメージと実際

猫と言えば魚のイメージを持たれる方が多いと思います。しかし実は与えてもいい魚と与えない方がいい魚があるので、一例を紹介します。

☆与えてもいい魚

新鮮で味付けされていない生のものが基本です。与える時は少量にしてください。

魚	与えるなら
鯛 (たい)	低脂肪でヘルシーな魚です。与える場合は小骨を取り除いてからあげてください。
鮭 (さけ)	良質な脂質とタンパク質が摂れます。与えるなら鮮度の良いお刺身用のものがよいとされています。

☆与えない方がいい魚

加工品、菌が多い生の青魚などは与えない方がいいとされています。

魚	与えてはいけない理由
にぼし・しらす	塩分が多く、どちらも継続して与え続けていると腎臓に負担をかけると言われていています。また結石のもとになるリンやマグネシウムの量が多いため、与えないのが無難です。動物用のものでも与えすぎには注意が必要です。

※症状、反応、味の好みには個体差があります。

猫の味覚とは？

猫は、雑食である人や犬と味の感じ方が少し違います。味覚を構成する甘味、苦味、酸味、塩辛さと大きく4つにわけてご紹介します。

○甘味

甘味単体 (糖のみ) では味覚として反応しません。これは猫が肉食で、意識的に糖をとる必要がなかったからだと言われています。酸味に含まれる糖には反応するので、甘味を識別できない訳ではないようです。

○苦味

甘味と違って、苦味は単体で感じ取ることができます。骨や肉の成分の中には甘味よりも苦味の反応が強く残るため、苦味の受容体は多くあるようです。

○酸味・塩辛さ

主食だった肉の中に酸味や塩辛さが含まれており、単体で摂る必要がなかったようです。そのためどちらも単体ではほとんど反応を示さないとされています。反応は苦味と甘味よりは弱く、酸味と塩辛さに対する反応の強さは変わらないようです。



猫特有の栄養素「タウリン」とは？

- ・必須アミノ酸のひとつです。
- ・タウリンを必要とする動物は、肝臓からシステインと呼ばれるアミノ酸物質でタウリンを合成しています。しかし猫はタウリンを合成する酵素の働きが極めて低く、必要な量のタウリンを自力で作ることができません。そのためフードの多くにタウリンが含まれています。
- ・猫に犬用のフードを与え続けた場合、タウリンが不足し体のバランスを崩すだけでなく失明や成長異常、流産などが起こる可能性があります。